

前川
しんすけ

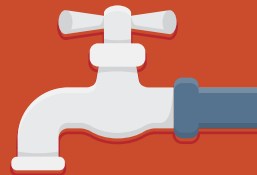
まえがわ



水道基本料金 半額化

燃やすごみ袋半額化の
約3倍の家計支援！

物価高騰から市民の
暮らしを守ります！
漏水を止めて、
水道基本料金を半額化！



上下水道が兵庫県下で3番目に高い丹波市。水道料金が高い理由は、毎年3億円分の水が漏れ出し、その漏水を止める工事に2億円をかけ、
合計**5億円**以上の損失が出ているからです！

漏水の主な原因

原因

1

水道管が老朽化していること

これまでも丹波市は古くなった管路の更新工事をしてきましたが、今のペースで管路更新が完了するのは、なんと200年後！さらに、今の取組を続ける限り、将来的に水道料金を値上げの検討をせざるを得ないことが9月議会で示されました。

原因

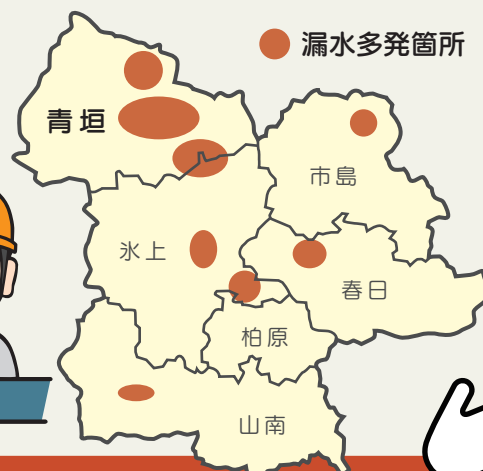
2

高い水圧がかかっていること

200年もかかる管路更新の前にすべきことがあります。行政に依頼した調査の結果、水圧の高い地域に漏水が多く、低い地域には少ないことが判明しました。つまり、効果的な漏水対策は管路更新ではなく、高すぎる水圧を落とすことなのです！

これまで丹波市が行なってこなかった減圧工事を行い、漏水を抑えて水道事業経営を健全化させ、水道基本料金を半額にします！ ※半額対象は一般家庭に多い口径13mm契約分のみ

- 丹波市では漏水を防ぐために減圧弁を設置することがなく、管路更新ばかり行なってきた。
- 漏水は水圧の高いエリアで多発しており、水圧の低い地域では少ない。
- 下水道の敷設に合わせて上水道の管路更新をしている地域が多い。そのため、下水道を敷設していない青垣地域では上水道の管路が古く、漏水が多発。



青垣地域内の水圧の高いエリアを中心に減圧工事をして、漏水を抑制！



POINT

水道以外にもムダを減らして、 市民サービスを強化！

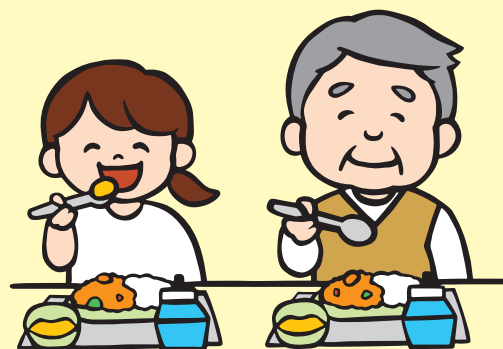


農家さんが作った旬で美味しく栄養価が高い野菜であっても、規格外であれば学校給食で使われず、廃棄されることもあります。

そこで、これまで廃棄されていた規格外の野菜を安く大量に買い受け、ピューレにしたり炒めて冷凍保存したりして一次加工品を製造。給食の材料にして給食を低コストで提供できるようにするのはもちろん、道の駅で売ったりふるさと納税の返礼品にしたりして、外貨も得ながら給食の無償化を実現させます。

さらに、その学校給食を地域に開放！特に一人暮らしの高齢者は一人分の料理を作って食べるのが億劫になりがちだから、そんな高齢者にはぜひ学校で子どもたちと一緒に給食を食べて、元気になっていただきたく思います。

高齢者福祉と学校教育の縦割り行政のムダを解消し、学校給食を核とした地域に開かれた学校づくりを推進します！

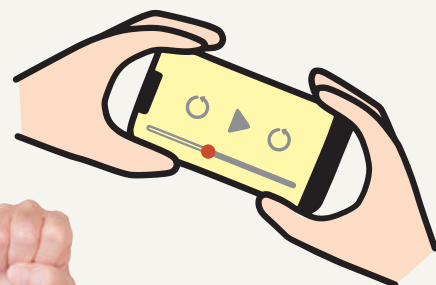


開かれた議会を後押し！

4年前に丹波市議会に入り、議会であった出来事をブログやSNSで発信してきましたが、これがなかなか伝わらない。議会広報誌『たんぱりんぐ』だってかなりの編集が入っていますから、議会のリアルは傍聴に来ていただくか、議会動画をご覧くださいしか見ることはできません。

しかし、傍聴にいらしたり議会動画を何時間も見たりする余裕がない人がほとんどです。だから議会動画を短く編集した動画を作成することが求められますが、現状では議会動画は著作権が市に帰属するため、それを根拠に林市長は議会動画の切り抜き編集を禁止としています。

そこで、私が市長になったら安芸高田市のように議会動画の切り抜き編集を容認して、議会のリアルな様子をYouTubeでコンパクトにお届けできる環境を整えます。



立候補者が議会でどんな言動をしてきたのかが市民の皆さんに伝わりにくい選挙は、今回で最後にします。

**丹波市が誕生してもう20年になります。
若い力で、丹波市を変えます！**

柏原地域にもっと 美味しい水を供給します!

昔から柏原地域の水道水が美味しくないとされる原因は、母坪水源から取水している原水のマンガン濃度が桁違いに高く、そのマンガン除去する過程で相応の塩素を使うからです。

今ではマンガン除去の方法が改善されはしましたが、それでもなお、柏原地域内の水道水はどうしてもカルキ臭く、ウォーターサーバーが使われている家庭も多くあります。

また、マンガン除去するためのコストもかかるため、母坪浄水場を稼働させることは水道水の単価を上げる一つの要因にもなっています。

さらにその母坪浄水場では、近年健康に悪影響を与える可能性が指摘されているPFASが、丹波市内で唯一検出されました。※数値は国が定める基準値未満で、直ちに問題になるものではありません



母坪浄水場の稼働を停止し、 他の地域から水を送り届けます。

そこで、柏原地域でより安心して美味しい水道水が飲めるよう、母坪浄水場の稼働を停止し、他の地域から水を送り届けます。

過去には春日地域も水質が問題視されていましたが、今では水上地域を経由して青垣地域から春日地域に水が送られ、春日地域の水質が随分と改善しています。

丹波市内で取れる良質な水を、市民の皆さんでシェアすることは、合併の一つのメリットにもなりますし、旧町の壁を超えた水融通は、「心の合併」を実現させる象徴になると考えます。

丹波市が誕生して
もう20年になります。
若い力で、丹波市を変えます!

